

(皇) 指令第二十四號 十月二日 東交争議首脳部 印

各支部御中

引場ヶ場所に就て

中立委員の誠意を以て、勸説に拘らず當局の暴案は撤回せず
頑迷な態度は今や調停委員会を其の儘決裂せしめんとするに立
至るに居る。斯くは吾等。再入トは時間の問題ならんとして居る然
し乍ら凡そ情勢は益々吾等に有利なり。勝利は愈確乎不
動だ首脳部は既に二回の再入ト準備指令を發したる今度の
ストも勿論堂々として戦はねばならぬが其情勢に應じ執拗果
敢なき行動を以て戦はねばならぬ従つて引場ヶ場所は今度は遠隔の地を
選ぶことは絶対に止む市内に於て適宜の行動に備へねばならぬ依つて引
場ヶ場所に關し左の如く指令す

一 引場ヶ場所は必ず市内とする事 既に市外に決定したる所は市
内に変更すべし

一 分散止む事の場合三十分以内に於て完全に全部の連絡を取れし様事
こと

一 引場ヶ場所未定の支部は急速決定し何時指令が出ても差支へなく
すべし

一 地区及支部のアゲト未だ報告せざる者は即刻報告せよ以上